

事例検討会報告

2021年8月19日(木)14:00~15:30 オンライン開催
第9回 多職種連携事例検討会~地域で生きるために~
「在宅看取りにおける多職種連携」 参加者53名

今回は、コロナ禍にホスピスから退院して「在宅看取り」を選択されたがん患者を約3ヶ月間支援されたチームの皆様のパネリストとしてご参加いただきました。当時を振り返り、具体的に各専門職の役割分担、情報共有のあり方等をパネルディスカッション形式による事例検討・ブレイクアウトルームにて意見交換・質疑応答を通して「在宅看取りにおける多職種連携」を学びました。

パネリスト：西区医師会	向原クリニック	院長	向原 進一氏 [座 長]
さくら薬局明舞松が丘店		薬剤師	黒田英津子氏
すみれ訪問看護ステーションサテライト神戸西		看護師	松村美奈子氏 [事例提供]
すみれ訪問看護ステーションサテライト神戸西		作業療法士	西山 剛司氏
ケアプランセンターすみれWEST		ケアマネジャー	勢川加容子氏
ゆう・たるみ		代表取締役	山岸 宣威氏

看護師より事例紹介後、「パネルディスカッション」にて、“在宅看取りを振り返って重要だった場面での支援の役割について”“支援する上で医療・ケアチームが大切にしたこと、協働して支援したこと等”についてパネリストの皆様より貴重な発表をいただきました。

「意見交換」では各グループ、司会者の進行により“パネルディスカッションで思う事・質問したい事”等を話し合い、気づき等をグループ内で共有しました。

「質疑応答」では「在宅看取りにおける本人や家族の意志決定について」「独居身寄りのない方の在宅看取り」他合計6問をご対応頂きました。



学び：メンバーが各役割の中で「本人・家族の思い」を情報共有し、密に連携を取る事により同じ方向に向かって対応する事で、「本人・残された家族」に納得して頂けた看取りを行う事ができる事例より、多くの事を学びました。

【参加者からの感想】(アンケートより一部抜粋)

薬剤師)・内容はとても素晴らしかったです。今後増えてくる可能性があるので参考になりました。

看護師)・自宅退院を迷っている方に自宅での支援について説明したいと思います。

・在宅看取りは本人だけでなく家族全体をサポートする必要があること、情報共有の大切さを改めて感じました。それぞれのパネリストの情報の多さや家族友人の調整。クリニックで働いていますが、見えない部分でどれだけ動いて頂いていたかが分かりました。ベッドサイドで寄り添って下さる方々に感謝しています。

ケアマネジャー)・他職種からの意見が伺え、今後の看取りケアに行かせると思いました。

・残された時間をいかに寄り添って緩和ケアをしていけば良いか参考になりました。

福祉用具)・連携がとても大事な事。ご利用者様の希望、ニーズを各方面のサービス全員で共有する事が満足の頂けるサービスに繋がると感じました。

~多数のご意見ありがとうございました~